

キャリア教育の推進

【現状と課題】

近年、若者の社会人、職業人としての基礎的・基本的な資質・能力の不十分さが指摘されていますが、児童生徒一人一人が学業の必要性や意義を実感するとともに、自分の生き方について考え、主体的に自己の進路を決定できるようにするため、勤労観や職業観を育成することが必要です。

職場体験学習は、ほとんどの中学校で実施されています。一方、高校のインターンシップは、すべての専門学科では実施されているものの、普通科では十分といえず、取組を充実させることが必要です。

各学校では、実社会で活躍する企業経営者や技術者等を講師として、進路に関する講話等を行い、自分の生き方について考える機会を設けています。

【これからの施策の方向性】

発達段階に応じ、学校の教育活動全体を通じた系統的なキャリア教育を推進します。

「キャリア教育の在り方に関する調査研究」指定校による実践例等を参考にして、キャリア教育に関する指導力の向上に努めます。

企業や経済団体などの関係機関との連携・協力を強化し、インターンシップ等のキャリア教育を推進します。

【主な取組】

発達段階に必要なキャリア教育を推進するため、各教科等の特質に応じた取組の推進を図ります。特に、普通科高校におけるキャリア教育を推進します。

小中学校段階での、ものづくり体験などの取組を推進することにより、早い時期からの望ましい勤労観、職業観の育成や職業に関する知識、技術の習得を図ります。

キャリア教育の指導計画や評価方法の研究、教材の開発に関する実践例を収集し、情報交換や情報提供を推進します。

企業や経済団体と連携し、より効果的なインターンシップや進路指導講話の実施などの取組を推進します。

企業管理職経験者などをキャリアコーディネーターとして配置し、インターシップの推進や進路相談等の充実に努めます。